

西条住み続ける条件は

市内高校生市長に提案

西条市内の高校の生徒が、越智三義市長と今後のまちづくりについて語り合う「高校生と未来会議」が19日、市役所であった。「市長になったら取り組みたいこと」「地元に住み続ける条件」をテーマに、若者視点で意見を出した。

西条、西条農業、東予総合、丹原、小松の5高校の1、3年生12人が参加し、2部制で実施。1部では、3グループに分かれ「仕事」「イベント」「交通・建物」の3分野で、必要と

思う政策をまとめた。

2部は越智市長と意



自分が西条市長になったら取り組みたい施策を発表する高校生(名札を画像加工しています)

見交換した。「交通・建物」の班は、空き家を学習の場として活用することを提案。建築科の生徒がリフォームしたり、生徒主体のイ

ベントの会場にしたりすることで、話題づくりや交流の場になると訴えた。ほかの班からは、自噴水の「うちぬき」を活用した産業創出などのアイデアも出た。

越智市長は「若者に戻ってきてもらえる西条市にすることは、市長選時の公約であり、是が非でも取り組みたい」と意気込み、生徒らに「一番のリスクは何もしないこと。将来、どんな道に進んでも失敗を恐れず行動してほしい」とエールを送った。

(清家康尊)